

沓掛山 (414m)

実施日：2月10日(火) 天候：晴れ時々曇り

参加者：5名 園田、川添、細田、園田、田中

行程：阪急「上桂」駅 8:56→9:22 松尾山登山口 9:24→9:52 油棚「ボランティア基地」10:04→10:56 山の神 11:00→12:24 沓掛山 12:33→13:04 西のベンチ 13:10→13:33 野鳥遊園 →13:39 国際日本文化センターレストラン「赤おに」

元々の計画は、マキノスキー場でスノーシュー遊びを楽しむことになっていたが、ここ数日の大寒波到来による湖西線列車運行の乱れ等の恐れがあったため、急きょ計画を変更して、近場の山を歩くことにした。市街地のすぐ近郊の山で、雪景色が楽しめたのは、嬉しかった。

松尾山林道を溪流に沿って、1号橋から22号橋までひたすら登っていく。登るにつれて積雪が多くなり、15号橋あたりから人の踏み跡が全くない新雪が積もっている。22号橋の先が峠で林道の終点である。ここに地元の人が設置したユーモラスな山の神様の祠がある。

山の神様を拝んで一服してから、沓掛山を目指して山道に分け入る。思ったよりもはるかに積雪が多く、狭い山道の両側からせり出した枝に積もった雪を払いながら進む。山道には小動物の足跡以外に踏み跡はなく、次第にルートが分かりにくくなっていく。地形から山道を見分け、何度もルート図を確認しながら登っていく。狭い雪の道の登りは難儀である。途中で2人は軽アイゼンを装着した。通常山の神様の祠から1時間ほどで沓掛山の頂上に至るが、今回は1時間半ほどかかった。雪景色を愛でながらではあるが、やはり雪道の登りはしんどい。山頂から京都市内、雪を頂いた遠くの山々の素晴らしい眺めに癒されながら小休止。風はなくお日様が出て心地よい。

少し小腹を慰めてから唐櫃越を下っていく。ここから先は、緩やかな下り坂であるが、南側斜面のルートなので積雪は少ない。スリップに注意しながら30分余り歩いて、桂坂野鳥遊園の上の西ベンチ展望箇所に至る。今日の目的地、桂坂野鳥遊園と国際日本文化研究所付属棟のレストラン「赤おに」を目指して急坂を下っていく。「赤おに」のラストオーダーが14時なので、やや急いで下るが、事故もなく全員14時20分前にレストランに到着。暖かいランチにありついた。ランチをとりながらゆっくり休憩して、最寄りのバス停から阪急洛西口駅に戻り解散した。なお、野鳥遊園は降雪のため休館となっており見学できなかった。

歩行距離 9.3Km 歩行時間 4時間 30分 累積上り 530m 累積下り 388m



1, 積雪予想以上に多い



2, 22号橋にて



3, 山の神



4, 積雪のためルートが分かりにくい、確認しながら上る



5, 愛宕山が良く見える



6, 沓掛山山頂で全員



7, 野鳥遊園、レストラン「赤おに」目指して下る